

二十歳の夢、描く阿南の将来

新成人と市長による

新春座談会



皆さま、明けましておめでとうございます。清々しい年明けの新春特集として、平成31年に成人式を迎える13人の新成人を市役所に迎え、平成30年11月10日に市長との座談会を開催しました。テーマは「10年後の私・阿南市」。10年後、30歳になった時にどんな自分でありたいか、どんな阿南市であってほしいか。それぞれの目標や阿南市への思いを、若者の視点でお話しいただきました。

司会（井上企画部長） 「広報あなん」恒例の新成人と市長との座談会を始めたいと思います。最初に岩浅市長よりごあいさつを申し上げます。

市長 皆さんこんにちは。

この新春座談会は、昭和63年から始まり、今回で24回目になります。皆さんにとつては人生で一度の経験になりますね。非常に有意義で、思い出になる企画に参加いただきありがとうございます。

皆さんは平成最後という記念すべき年に選ばれた、新成人の代表です。緊張するかも



桑野地区
中島 由貴さん

阿南の良さを
市民が知ること

中島 私は阿南高専に通い、阿南市の生物多様性をテーマ



福井地区
伊藤 凧汰さん

帰ってきたら
思えるまちに

伊藤 私は、阿南高専の機械コースで、機械の設計・製造などを学んでいます。4月からは県内企業への就職が決まっています。10年後は、立派なエンジニアになって、周りから頼られるような人材でありたいです。



新野地区
一ノ宮 実紀さん

阿南の魅力は
人、食、自然

現在の阿南市の若者は就職や進学のために県外へ出る人が多いと思います。そんな若者が、また帰ってきたらと思えるまちづくりが大切だと思います。スポーツや音楽イベントで盛り上げていくと良いのではないのでしょうか。

一ノ宮 私は、富岡東高校羽ノ浦校で看護の勉強をしています。4月からは、県外の大学へ編入します。将来は阿南市に貢献できるような保健師として活躍したいと思っています。

10年後の私は、仕事と育児の両立をし、趣味も楽しんでいると思います。阿南市の健康寿命を徳島県で1番にすることが私の目標です。阿南市を盛り上げていくために、フルマラソン大会を開



市長 私は17年間東京に住んでいました。いったん県外で生活してこちらに帰ってきたら、阿南市は気候が良く食べ物がおいしい、良いところだと初めてわかる。皆さんにこのことを話しても、やはり外に出てみないと説得力がないのですが。だから私は県外に出たい方は出なさい、だけど必ず将来帰ってきて、阿南市に貢献してほしいと思っています。

催し、参加者に阿南市の自然の豊かさや人々の温かきを感じていただき、おいしい食材を生かした屋台などを出すのはいかがでしょうか。



長生地区
山川 茜里さん

安心して子育てができるまちに

大谷 私は幼稚園の先生になるために京都で幼児教育の勉強をしています。子どもの気持ちに寄り添える先生になることが目標です。10年後は、両親の近くに住み、仕事もプライベートも充実しているといいなと思います。



富岡地区
大谷 かりんさん

親子で参加できる
イベントを

山川 私は四国大学看護学部看護学科で、看護師や助産師になるために勉強しています。将来は、阿南市の地域医療に貢献したいです。10年後は、助産師として多くの人々の人生に携わり、幸せになる手助けができればと考えています。

松田 私は高校を卒業してすぐに社会人となって、今年2年目です。教わったことをしっかり覚えて、上司や先輩のようになりたくて、頑張っています。10年後の私は、会社で部下

ができて、信頼される上司になりたいです。



橋地区
松田 慎也さん

子どもは
市の財産

松田 私は、日亜化学工業株式会社勤務し、製造業務をしています。目標は、少しでも早く先輩方に追いつけるようにすることです。そのため日々頑張っています。10年後の私は、会社で日々精進し、何ごとにもチャレンジしていきけるような人になりたいです。また、先輩がいると思うので、信頼される人になりたいです。阿南市も今、少子高齢化という問題があると思います。働きながらでも、安心して子育てができるような環境が必要だと思っています。

少子化対策として、子どもの年齢や親の就業状況などに応じた多様な支援を行うなど誰もが安心して子育てを行える環境を作ることが大切だと思います。



宝田地区
福田 大貴さん

働きながら子育て
できる環境を

つていたいです。これからの阿南市のますますの発展に向けて、市の財産である子どもを育てていきやすい環境を作ることが、人口増加につながると思います。

10年後の私は、会社で日々精進し、何ごとにもチャレンジしていきけるような人になりたいです。また、先輩がいると思うので、信頼される人になりたいです。阿南市も今、少子高齢化という問題があると思います。働きながらでも、安心して子育てができるような環境が必要だと思っています。



中野島地区
田上 陽菜さん

病児保育の 充実を

田上 私は名古屋大学医学部医学科に通って医師になるための勉強をしています。将来は患者さんに寄り添える小児科医になりたいです。部活動ではソフトテニスをしています。

10年後、私は医師として後期研修終了前後となっています。阿南市には、働きながら子育てをしている家族の支援として、病児保育の充実もしてほしいと考えています。

後児保育の需要も増えており、課題となっています。共働きが増え、女性が活躍しているということでしょう。

そして阿南市だけでなく地方はどこも人口が減っています。その中で、阿南市と那賀町、海部郡（美波町・牟岐町・海陽町）の、合わせて約10万3000人が住む1市4町は「南阿波定住自立圏」をつくり、圏域内の住民に必要な住民サービスを維持するために、医師確保対策や、相談窓口の広域化、図書館の相互利用などを行っています。



羽ノ浦地区
岡部 雅也さん

スポーツで阿南に 人を呼ぶ

岡部 私は高校を卒業してから電気関係の会社に勤めています。先輩に追いつけるように日々頑張っています。また、社会人チームに参加し、サッカーを続けています。



10年後、仕事では後輩が得意、周りの人から信頼される立派な大人になっていると信じています。

徳島市内の友だちの中には、阿南市に来たことがない人もいます。最近では、J A アグリあなんスタジアムへ県外の方が野球合宿で来たりしているのので、スポーツ施設を活用して、活気ある阿南市にしたいです。



加茂谷地区
片山 明莉さん

阿南の観光地を 大々的に宣伝

片山 私は、四国大学生生活科学部児童学科で、教育課程取得をめざして勉強しています。大学では陸上競技部に所属し、円盤投げをしています。将来は、スポーツ教育に貢献できる教師になりたいと思っています。

10年後の私は、仕事と子育てを両立したいと思っています。教育の現場では、一人ひとりの個性や能力を伸ばす教育をしたいです。

阿南市を活性化するには、観光客の誘致、県外移住者に対する受け入れ体制を整えることが大切だと思います。

市長 若者が遊べる場所をつくりたいと、スケートボード場を羽ノ浦町に作りました。また、SUP（スタンド・アップ・パドルボード）を楽し

める場所を、かもだ岬温泉の前に作ることが現在計画されています。

阿南市では伊島や蒲生田岬はインスタ映えする場所だと思っています。阿南市民でも行ったことがない人が多いんです。ぜひ行ってみてください。



見能林地区
豊田 祥基さん

南海トラフ 巨大地震への備え

豊田 私は阿南高専の建設コースで土木技術を学んでいます。卒業後は徳島大学に進学し、「防災」を専門分野にして勉強したいと考えています。そして、近い将来発生が予想されている南海トラフ巨大地震に備えたいです。



震に備え、防災・減災に貢献できる人材になることが私の目標です。

阿南市は、県南の中核都市として、広域を先導する中心的な役割を担っていると思います。10年後は、その一員として、そして主力となって、自分の生まれ育った地元で活躍し、貢献していきたいです。

市長 南海トラフ巨大地震対策では、市庁舎に免震構造を採用し、市民が避難できるような広い空間を設けています。緊急時には自衛隊、警察が集まり市庁舎に災害対策本部を作ります。

阿南市庁舎は、大地震時の防災拠点等となる建築物について国土交通省が作成したガイドラインに、先進事例として紹介されており、全国から多くの視察が訪れています。

生産年齢層を 阿南に誘致



那賀川地区
米澤 亜美さん